

CASBEE-新築(簡易版)2010年版
 (仮称)福知山サンホテル新館増築工事

■使用評価マニュアル CASBEE-新築(簡易版)2010
 ■評価ソフト: CASBEE-NCb_2010(v.1.8)

欄に数値またはコメントを記入

配慮項目	環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
G 建築物の品質						2.6
Q1 室内環境			0.40			3.0
1 音環境		3.4	0.15	3.2	1.00	3.3
1.1 騒音		3.0	0.40	3.0	0.40	
1 室内騒音レベル		3.0	1.00	3.0	1.00	
1.2 遮音		5.0	0.40	3.6	0.40	
1 開口部遮音性能	【共用部】T-2・T-3(多目的ホール・事務所・PC) 【宿泊部】T-2(客室)	5.0	1.00	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能				3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)				3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)				3.0	0.20	
1.3 吸音		1.0	0.20	3.0	0.20	
2 温熱環境		2.4	0.35	2.8	1.00	2.6
2.1 室温制御		2.7	0.50	3.4	0.50	
1 室温		3.0	0.38	3.0	0.67	
3 外皮性能		2.0	0.25	4.0	0.43	
4 ゾーン別制御性		3.0	0.38			
2.2 湿度制御		1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式		3.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境		2.2	0.25	3.3	1.00	2.9
3.1 昼光利用		2.4	0.30	4.2	0.30	
1 昼光率		2.0	0.60	5.0	0.60	
2 方位別開口		3.0	0.40	3.0	0.40	
3 昼光利用設備		1.0	0.30	3.0	0.30	
3.2 グレア対策		1.0	1.00	3.0	1.00	
2 昼光制御						
3.3 照度		3.0	0.15	3.0	0.15	
3.4 照明制御		3.0	0.25	3.0	0.25	
4 空気質環境		4.2	0.25	3.3	1.00	3.7
4.1 発生源対策		4.0	0.50	4.0	0.63	
1 化学汚染物質	【共用部】【宿泊部】F☆☆☆☆	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気		4.0	0.30	2.3	0.36	
1 換気量		3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能		5.0	0.50	1.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮	【共用部】ロビー:異なる方位かつ6m以上の離れ 【宿泊部】同じ方位,3m以内					
4.3 運用管理		5.0	0.20			
1 CO ₂ の監視						
2 喫煙の制御	【共用部】1階喫煙コーナー	5.0	1.00			
Q2 サービス性能			0.30			2.8
1 機能性		3.3	0.40	2.4	1.00	2.7
1.1 機能性・使いやすさ		3.0	0.40	2.0	0.60	
1 広さ・収納性				1.0	0.50	
2 高度情報通信設備対応		3.0	1.00	3.0	0.50	
3 バリアフリー計画		4.0	0.30	3.0	0.40	
1.2 心理性・快適性				3.0	0.50	
1 広さ感・景観		4.0	1.00	3.0	0.50	
2 リフレッシュスペース						
3 内装計画	ロビー折り上げ天井部に丹後木綿を設置し演出					
1.3 維持管理		3.0	0.30			
1 維持管理に配慮した設計		3.0	0.50			
2 維持管理用機能の確保		3.0	0.50			
2 耐用性・信頼性		3.2	0.31			3.2
2.1 耐震・免震		3.0	0.48			
1 耐震性		3.0	0.80			
2 免震・制振性能		3.0	0.20			
2.2 部品・部材の耐用年数		3.7	0.33			
1 躯体材料の耐用年数		3.0	0.23			
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	タイル(30年以上)	5.0	0.23			
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔		3.0	0.09			
4 空調換気ダクトの更新必要間隔		3.0	0.08			
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	給水・給湯・排水管でB以上	5.0	0.15			
6 主要設備機器の更新必要間隔		3.0	0.23			

2.4 信頼性			2.8	0.19			
1	空調・換気設備	・グリーン購入適合品(全体の過半以上) ・可能な限り配管系統を区分	3.0	0.20			
2	給排水・衛生設備		4.0	0.20			
3	電気設備		3.0	0.20			
4	機械・配管支持方法		3.0	0.20			
5	通信・情報設備		1.0	0.20			
3 対応性・更新性			2.5	0.29	2.6	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり					2.2	0.50	
1	階高のゆとり				1.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ				4.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり					3.0	0.50	
3.3 設備の更新性			2.5	1.00			
1	空調配管の更新性		3.0	0.17			
2	給排水管の更新性		3.0	0.17			
3	電気配線の更新性		3.0	0.11			
4	通信配線の更新性		3.0	0.11			
5	設備機器の更新性		1.0	0.22			
6	バックアップスペース		3.0	0.22			
Q3: 室外環境(敷地内)				0.30			2.0
1 生物環境の保全と創出			1.0	0.30			1.0
2 まちなみ・景観への配慮			2.0	0.40			2.0
3 地域性・アメニティへの配慮			3.0	0.30			3.0
3.1	地域性への配慮、快適性の向上		3.0	0.50			
3.2	敷地内温熱環境の向上		3.0	0.50			
LR 建築物の環境負荷低減性							3.4
LR1 エネルギー				0.40			3.6
1 建物の熱負荷抑制			3.0	0.30			3.0
2 自然エネルギー利用			4.0	0.20			4.0
2.1	自然エネルギーの直接利用		3.0	0.50			
2.2	自然エネルギーの変換利用	太陽光発電	5.0	0.50			
3 設備システムの高効率化		高効率機器の採用	4.5	0.30			4.5
		集合住宅以外での評価(ERRIによる評価)	4.0				
		集合住宅での評価					
4 効率的運用			3.0	0.20			3.0
4.1	モニタリング		3.0	0.50			
4.2	運用管理体制		3.0	0.50			
LR2: 資源とマテリアル				0.30			3.3
1 水資源保護			3.4	0.15			3.4
1.1	節水	自動水栓、節水型便器(グリーン購入適合品)	4.0	0.40			
1.2 雨水利用・雑排水等の利用			3.0	0.60			
1	雨水利用システム導入の有無		3.0	0.67			
2	雑排水等利用システム導入の有無		3.0	0.33			
2 非再生性資源の使用量削減			3.4	0.63			3.4
2.1	材料使用量の削減		2.0	0.07			
2.2	既存建築躯体等の継続使用		3.0	0.24			
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用		3.0	0.20			
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	再生クラッシュラン	3.0	0.20			
2.5	持続可能な森林から産出された木材		3.0	0.05			
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	GL工法	5.0	0.24			
3 汚染物質含有材料の使用回避			3.0	0.22			3.0
3.1	有害物質を含まない材料の使用		3.0	0.32			
3.2 フロン・ハロンの回避			3.0	0.68			
1	消火剤		-	-			
2	発泡剤(断熱材等)		3.0	0.50			
3	冷媒		3.0	0.50			
LR3 敷地外環境				0.30			3.1
1 地球温暖化への配慮		リサイクル資材の採用	3.8	0.33			3.8
2 地域環境への配慮			2.5	0.33			2.5
2.1	大気汚染防止		3.0	0.25			
2.2	温熱環境悪化の改善		2.0	0.50			
2.3 地域インフラへの負荷抑制			3.0	0.25			
1	雨水排水負荷低減		-	-			
2	汚水処理負荷抑制		3.0	0.33			
3	交通負荷抑制		3.0	0.33			
4	廃棄物処理負荷抑制		3.0	0.33			
3 周辺環境への配慮			3.2	0.33			3.2
3.1 騒音・振動・悪臭の防止			3.0	0.40			
1	騒音		3.0	1.00			
2	振動		-	-			
3	悪臭		-	-			
3.2 風害・砂塵、日照阻害の抑制			3.0	0.40			
1	風害の抑制		3.0	0.70			
2	砂塵の抑制		-	-			
3	日照阻害の抑制		3.0	0.30			
3.3 光害の抑制			4.4	0.20			
1	屋外照明及び屋内照明の立ち上り光への対策	光害対策ガイドライン項目の過半を満たしている	5.0	0.70			
2	星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策		3.0	0.30			